令和７年 第４回皆野町議会定例会　開会挨拶

おはようございます。開会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日、令和７年第４回皆野町議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位のご出席を賜り、ここに開会できますことを心より御礼申し上げます。あわせて、日頃より町政の推進にご尽力を賜っておりますことに、改めて感謝申し上げます。

さて、去る１０月２８日、第２６回全国女性消防操法大会が横浜市において開催され、埼玉県代表として出場した皆野町女性消防隊が、全国１３位、敢闘賞を受賞いたしました。

本大会に向けて積み重ねてこられた隊員の皆さまの努力はもとより、消防署のご指導、消防団を挙げての支援など、多くの関係者の皆さまのご協力のもとに得られた成果であり、町としても大変意義深いものと受け止めております。改めて、このたびの健闘に対し、町として心から祝意を表するとともに、関係された皆さまのご尽力に深く感謝申し上げます。

また、１０月１９日には、まちづくり地区懇談会をきっかけとして、「駒形で繋がる 広げる みんなの輪」と題した駒形区ふれあい祭りが、６年ぶりに復活いたしました。

地域の皆さんが、まちづくりを自分事として捉え、コロナ禍により一度は途絶えたお祭りの復活というチャレンジに踏み出してくださったことを、大変うれしく、また心強く感じております。

本年も、町内各地のさまざまな地区のイベントや行事に参加させていただいておりますが、こうした取組は駒形区に限らず、町内各地で、それぞれにご苦労を重ねながら大切に受け継がれているものと受け止めております。そのご尽力に対し、心から感謝を申し上げます。

続いて、９月定例会以降の町の取組についてご報告いたします。

９月２８日には、皆野町観光大使・奥宮俊佑さんによる「みなの天空ウルトラマラソン」が開催され、北は北海道、南は鹿児島から４１２名の方にご参加をいただきました。
当日は、コース沿いとなっている旧日野沢小学校のグラウンドにおいて地区民の体育大会が開催されており、選手が通過するたびに大きな声援が送られるなど、地域と一体となった大会となりました。大会を知っていただく機会となるとともに、声援を受けた選手からは喜びの声が寄せられました。

１０月１日には、高齢者の見守り活動を行う集落支援員１名を委嘱いたしました。高齢者の孤立防止や、生きがい・やりがいづくりに取り組んでいただきます。
１８日には、「第３期まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に向け、当町では初となる町民向けワークショップを開催し、活発なご議論をいただきました。頂戴した貴重なご意見・ご提言を十分に踏まえ、計画の策定を進めてまいります。

また、１１月１日からは、暮らしを支え、誰もが安心して移動できる地域公共交通を目指し、デマンドタクシー「のってみ～な」の実証運行を開始いたしました。運行期間は令和８年１月３１日までとなっておりますので、ぜひご利用いただき、あわせてご意見をお寄せいただきたいと存じます。

このほか、１０月のみんなの皆野ふれあいまつり、１１月の皆野横丁、消防団特別点検と、大きな行事が続きました。
みんなの皆野ふれあいまつりには多くの方にご来場をいただき、また、ふれあいまつりの開催にあわせて、み～なラインスタンプの販売を開始いたしました。より多くの皆さまにご利用いただけるよう、ＰＲに努めてまいります。
皆野横丁には、例年にも増して町内外から多くの皆さまにご来場をいただき、会場は大変なにぎわいとなりました。

消防団特別点検では、日頃の訓練の成果と、団員一人ひとりの規律ある姿勢が随所にうかがえました。昨年は無火災、本年は建物火災が１件発生しましたが、幸いにも大きな被害には至っておりません。これもひとえに、町の安心・安全を守る消防団の皆さまによる日々の活動の成果であり、改めて深く感謝申し上げます。

本定例会の町長提出議案は、付議事件一覧表のとおり、１５議案でございます。一般会計補正予算（第６号）では、「道の駅みなの」の大規模リニューアルに向けた土地・建物の購入費を計上しております。

これは、町の将来を見据えた数か年にわたる新たなチャレンジへの着手でございます。道の駅みなのを、町外から人を呼び込む施設としてだけでなく、農業や産業の出口として位置づけ、付加価値を提供することで、地域経済の循環を促進し、活性化につなげてまいりたいと考えております。

あわせて、町民が集い、交流し、町の魅力を内外に発信する場として、コミュニティの拠点となるよう、機能の充実を図ってまいりたいと考えております。

ご審議を賜り、可決、承認、同意いただきますようお願い申し上げ、挨拶といたします。